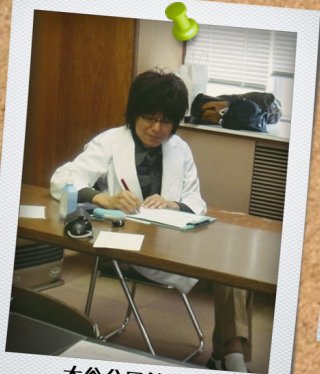




大谷公民館での
巡回診療



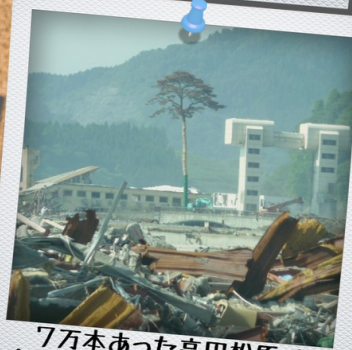
気仙沼
本部ミーティング



気仙沼 医療救護チーム



診療を行なった
長部仮設診療所



7万本あった高田松原で
唯一耐え残った奇跡の一本松



大津波で全壊した
岩手県立高田病院



陸前高田 医療救護チーム



被災したピアノ



仮設診療所で
血液検査を実施

こころ

樽病だより

平成23年夏号

通算16号

発行日

平成23年7月

市立小樽病院広報企画委員会

電話25-1211

がんばれ、
日本。
がんばれ、
東北。

東日本大震災

医療救護班の活動

3月11日に発生した東日本大震災。災害拠点病院である当院は、北海道の要請により、医療救護班の派遣を決定しました。

◎宮城県気仙沼市

(平成23年4月18日～4月24日)

医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名の5人のチームで、気仙沼市にある避難所6箇所を巡回して診療にあたりました。

震災1ヶ月後の気仙沼市は、市街地の一部でライフラインが復旧していたものの、がれきはほとんど手付かずの状態でした。

派遣当時巡回した避難所は、大きい所で約280人、小さい所では十数人の方が生活しており、いずれもその避難所の一面にスペースを確保し、診療をしていました。

一日平均15人程度の方々を診療。被災された方々の健康状態は、急性期から慢性期へと変化していました。

例年になく寒さのため、風邪の症状に悩まされ、隣を気にして咳を止めて欲しいという方や、血圧の薬を津波で流されてしまったので処方をお願いという方が多く訪れていました。

自ら苦境にありながら、私たちが小樽から来たことを知り、深々と頭を下げて見送ってくださった方の姿を忘れることができません。

◎岩手県陸前高田市

(平成23年6月5日～6月11日)

医師1名、看護師2名、薬剤師1名、検査技師1名の5名のチームでした。

陸前高田市では仮設診療所における診療と、検査機器を持ち込み、仮設診療所でも可能な血液検査を行なったことが特徴的です。これには、当院で実施している「フチ健診」のノウハウが役立ちました。

プレハブの仮設診療所では、一日平均30人程度の方々を診療しました。気仙沼同様、診療内容は主に高齢者の方の慢性期の疾患が主で、これから酷暑へ向う時期、高齢者の脱水や熱中症が心配される時期もありました。

待合で和やかに話している患者さんが、問診で看護師と2人きりになると、毎日歩き回って津波に流されてしまった家族を探している話などを吐露されるなど、明るく振舞っている一方で、実は心の奥深くに苦しみや悲しみを沈めて、耐え忍んでいる方が数多くいらっしゃるのだと痛感しました。

もし小樽に大災害が起こったら、市立病院として何ができるのか、果たすべき役割を今一度確立しなければなりません。その時に、私たち医療救護班で派遣されたメンバーの経験を役立てたいと考えます。

「市民講座」

「ピロリ退治で胃がんとグッバイ」

第6回市民講座を2月24日（木）に小樽経済センターで行い、好評のうちに終了しました。

胃がん・胃潰瘍の原因となるピロリ菌の検査と除菌治療について、講師の岸川和弘先生からわかりやすい説明がありました。先生の質問に正解すると小さなプレゼント付きという、終始なごやかな雰囲気での講演会でした。早速、検査の申込みをされる方もおられ、ピロリ健診の大切さが理解していただけたようです。同時に行った「肺年齢測定」「体脂肪測定」なども大好評で、多くの方が参加されました

今後の市民講座

平成23年8月20日（土） 14時～16時
小樽経済センター4F

家庭で一般の方があわてがちな「出血」に関連した病気の話をお願いします。

外科医師による痔の最新治療「切らずに治す いぼ痔治療」ALTAによる注射療法と、耳鼻科医師による鼻血について「鼻出血の原因と治療」のふたつの講演を準備しています。

詳細が決まり次第、「広報おたる」の紙面、ポスター、ホームページなどでご案内します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



新登場！「アディポ健診」

体の脂肪細胞から作られるホルモンの「アディポネクチン」が注目されるようになり、当院ではいち早く健診に取り入れました。

このホルモンは、善玉（長寿）ホルモンと言われ、糖尿病を抑える、血液を下げる、動脈硬化を防ぐなどの働きがあります。

さらに最近では「がんになりやすさを抑える」働きもわかってきました。

一般に「太ると生活習慣病にかかりやすくなる」とされますが、これはアディポネクチンが減少するためとみられています。

健診内容

- ①アディポネクチン値（採血）
- ②善玉・悪玉コレステロール値（採血）
- ③動脈硬化検査（血圧脈波検査）

料金は 3000円です

*直接医師が結果を説明し助言するため、2回来院していただきます。



「ピロリ健診」陽性率

50代以上の方がピロリ菌に感染している割合は、60～70%とも言われています。

当院のピロリ健診でも表のとおり73%の方が感染していました。

（除菌成功率が79%なのは、治療後の再検査を受けず確認できない方がいるためです）

ピロリ菌の検査は、尿か呼気で調べることができます。

受診数	陽性率	除菌成功率
128	73%	79%



当院の『ピロリ健診』では、呼気検査でピロリ菌感染の有無を調べたり、感染を認めたとき薬で除菌をします。費用は公的医療保険が適用されないで、全額自己負担になります。

呼気検査・・・・・・・・・・4000円

除菌治療の薬代・・・・・・・・7000円

（ピロリ菌の有無だけなら「プチ健診」尿ピロリ検査があります）

○医師による説明が必要なので呼気検査・除菌治療は予約が必要です。

「新市立病院について」 のお知らせ

現在、当市には当院（市立小樽病院）及び小樽市立脳・循環器・こころの医療センターの二つの市立病院があります。が、両院ともに老朽化が進み、また、二つに分かれていることによる非効率性から経営的にも大変厳しい状況にあります。

このような中、二つの病院を質の高いより効率的な新病院として統合することにより、地域医療を守り、財政負担の軽減を図るための統合新築事業を進めております。

このたび、昨年7月から進めてきました、基本設計業務を完了したことをお知らせします。

なお、新市立病院の詳細につきましては、小樽市のホームページより、市民の皆様へ「病院」↓「新市立病院」に掲載しております。



新病院イメージ



外観パース（東側）



外観パース（西側）



エントランスホールのイメージ



ホスピタルストリートのイメージ

（今後、実施設計や工事の諸条件等により変更する場合があります。）

4月からの新任医師紹介

内科



医師：三橋 慧

出身大学 札幌医科大学
卒業年 平成20年
所属学会 消化器病学会
(資格) 消化器内視鏡学会
日本内科学会
日本肝臓学会

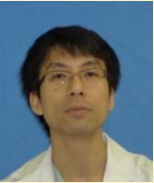
泌尿器科



医長：中村 美智子

出身大学 北海道大学
卒業年 平成13年
所属学会 日本泌尿器科学会(専門医)
(資格) 日本小児泌尿器科学会(認定医)
日本Endourology・ESWL学会

麻酔科



医師：佐々木 英昭

出身大学 札幌医科大学
卒業年 平成14年
所属学会 日本麻酔科学会(専門医)
(資格) 日本集中治療医学会
日本救急医学会

麻酔科



医師：宇野 あゆみ

出身大学 札幌医科大学
卒業年 平成19年

整形外科



嘱託医：小野寺 伸

出身大学 北海道大学
卒業年 平成元年
所属学会 日本整形外科学会(専門医)
(資格) 日本リウマチ学会(専門医)

整形外科



嘱託医：北山 聡一郎

出身大学 関西医科大学
卒業年 平成13年

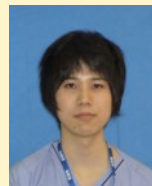
研修医



研修医：赤保内 正和

出身大学 札幌医科大学
卒業年 平成23年

研修医



研修医：大平 将史

出身大学 東北大学
卒業年 平成23年

研修医



研修医：角木 拓也

出身大学 札幌医科大学
卒業年 平成23年

病院理念

良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く職員、医療人としての使命感を持ち協調して行動する病院